

## 令和 2 年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す児童像含む）

## (1) 基本方針

広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。

## (2) 具体目標

『時代を拓く日本人を育てる』

○ よく学び考える子・・・「学力の基礎・基本」の確実な定着

○ 思いやりのある子・・・「他者を思いやる心」の育成

○ たくましい子・・・活動の源となる「体力」の向上

挑戦したりやり抜いたりする「たくましさ」の育成

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立 147 年を迎え、歴史や伝統、豊かな自然や文化によって培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全教職員が連携・協働し、充実した教育環境のもと、本校の教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員が教育への情熱と使命感をもち、児童・保護者・地域住民と協和し、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域や企業とも相互理解を深め、三育（共育・協育・響育）の精神をもって地域の教育資源を活用しながら、知・徳・体のバランスのとれた力、挑戦したりやり抜いたりするたくましさ、自らの夢の実現や社会貢献を指向する志をもった児童の育成に取り組む。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○(1) 楽しく居がいのある学校づくり

○(2) 生きる力を育む教育実践

○(3) 社会性の育成

(4) 地域と共にある学校づくり

(5) 自己研鑽と経営組織の活性化

(6) 働き方改革を意識した校内事務の効率化

[古里地域学校園教育ビジョン]

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立をめざす教育に小中が一貫して取り組む。

## 4 教育課程編成の方針

(1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領、栃木県教育委員会施策、宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い、本校教育課程を編成する。

(2) 令和 2 年度の本校の教育目標の実現を目指して、各教科等及び各学年間の関連を図り、系統的・発展的な指導ができるようにするとともに、地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し、特色ある教育課程を編成する。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】 ○児童も教師もいきいきと活動する学校、児童も教師も成長する学校、地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」

・教職員が児童と向き合う時間を十分かつ適切に確保するため、積極的に業務改善に取り組む組織作りの推進

・新型コロナウイルス感染症対策と新しい生活様式の確立

【 学 習 指 導 】 ○自分のめあてをもち、進んで取り組み、力を高め合う児童の育成

【 児 童 生 徒 指 導 】 ○一人一人が自信をもち、共に支え合いながら、生き生きと活動する児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】 ○生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し、体力や健康に関する知識や技能を身に付け、自他の生命を尊重しながら、安全な生活を営む児童の育成

## 6 自己評価（評価項目の A は市共通、B は学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 児 童 の 姿	<p>A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業の中に学びあいの活動を取り入れ、課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。</p> <p>② 「<u>白沢小学習の約束</u>」や<u>古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」</u>を配布し、<u>家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u></p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 88.5%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・①・②を継続していく。</p>
	<p>A2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 道徳において、相手の気持ちを考えたり、その時の自分の行動を考えたりする授業を実践していく。</p> <p>② 他の児童が行った、思いやりの行動を「<u>ありがとうのふわふわ雲</u>」に掲示することで、児童同士が互いのよさを認め合えるようにする。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 84.7%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</p>
	<p>A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、決まりやマナーを守って、生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 本校の生活目標を明確化した「<u>すてきな虹色白沢っ子</u>」を継続する。また、月目標の提示方法や重点チェック期間、振り返り方を見直し、児童一人一人が「<u>守ろう</u>」という意識を高める工夫をする。</p> <p>② 各種便りを通して、重点目標への取組や児童の変容などを保護者や地域に知ってもらう。</p> <p>③ 生活のきまりや学習のきまり等の掲示物を作成し、児童の意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活を送れるよう教職員が一体となって児童の育成に当たっていく。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 77.1%であり、指標の 80%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・「<u>新型コロナウイルス感染症対策</u>」としてのきまりが多くある中ででの生活ではあるが、安全で楽しい学校生活を送れるよう本校独自のきまりである「<u>すてきな虹色白沢っ子</u>」を継続していく。</p>
	<p>A4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① <u>古里地域学校園や児童代表委員会を中心とした朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。</u></p> <p>② 児童会によるあいさつ運動を継続したり、家庭でのあいさつを強化したりするなどの工夫をして、さらなる定着を図る。</p> <p>③ 懇談会や各種便りを通して、家庭と連携して指導の徹底を図る。</p> <p>④ 来校者や地域住民へのあいさつ及び会釈ができるような取組を工夫する。また、月に1回家庭でのあいさつチェックシートを活用し、習慣化を図る。</p>	B	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 89.3%であり、指標の 90%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・現状の①②を継続する。マスク着用の状況を鑑みると大きな声でのあいさつだけでなく会釈でのあいさつの習慣化を図る。</p> <p>⇒基本的には継続だが、具体的取組の一部見直し</p>

<p>A5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 繰り返し学習したり、少し難しい学習に挑戦したりする場を意図的に作り、児童の意欲の向上や達成感に繋げるようにする。</p> <p>② グループやクラス・学年で自分たちの力で最後まで取り組むことで達成することができる経験を設定することで、達成感や成就感を味わわせる。また、最後まであきらめずに取り組めたことを認め励ましていく。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は 86.6%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・昨年度の 84.2%より 2.4 ポイント上回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</li> </ul>
<p>A6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 健康について児童が実感を伴って理解できるように保健学習や学級活動における項目内容を充実させる。</p> <p>② <u>地域や保護者と連携して安全教育の充実を継続するとともに保健委員会では安全面、体育委員会では怪我の予防等、児童が健康・安全をいしきで</u>るような取組を充実させる。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は 91.6%であり、指標の 80%を上回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</li> <li>・感染症対策を十分に行い、健康への意識を高めていく。</li> </ul>
<p>A7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学級活動や児童会活動、縦割り班活動（児童会・清掃・給食）等において、児童一人一人が集団の一員としての自覚や責任をもち、互いに協力することのよさや自分のよさについて感じることができるよう、活動内容を工夫する。</p> <p>② 地域の人材・施設等を活用し、働くことの大切さ知ったり、体験したりする活動を設定する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は 86.6%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・昨年度の 84.2%より 2.4 ポイント上回った。</li> <li>・コロナ禍で実施できない活動が多かったため、低い評価になってしまったのではないと思われる。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、感染症対策を行い、内容を工夫して、来年度も継続していく。</li> <li>・①・②を継続していく。</li> </ul>
<p>A8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 授業において、担当する教員が自ら積極的に英語を使う授業を展開するとともに、ALTを積極的に活用し、英語によるやり取りを行う活動を設定する。</p> <p>② ALTによる給食時や休み時間の交流を行い、児童が英語に触れる機会を設ける。</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の肯定的回答は 89.2%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・廊下の掲示物など、児童が目にする環境の整備が進んだ。また、今年度より教科化となり、より意識が高まった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的にも聴覚的にも児童が英語に触れる機会がさらに増えるよう、一層環境を整えていく。</li> </ul> <p>⇒環境整備について取組内容の追加</p>

<p>A9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 宇都宮に関する情報を児童に積極的に発信する。</p> <p>② 郷土に対する誇りや愛情をもてるよう、身近な自然や文化について、生活科・社会科・総合的な学習の授業において学ぶ機会を充実させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は 82.8%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>道徳や総合で宇都宮について知る機会が増え、宇都宮に目を向けることができたようになった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①・②を継続していく。</li> </ul>
<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 総合的な学習等において、タブレットを活用した授業を展開し、様々な機能(調べる・絵を描く・カメラ撮影等)に慣れ親む機会を設定する。</p> <p>② 市図書館等の貸出を利用し、必要な図書資料を豊富に準備し、学習に活用する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は 81.7%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>特にタブレットやパソコン室を活用する機会が多かった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後はICTの多様な活用を進めたり、図書資料の活用の仕方についての学習を充実させたりしていきたい。</li> </ul> <p>⇒追加の具体策は要検討</p>
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 高齢者とふれあう機会を設置することにより(運動会への招待・インタビュー・高齢者施設見学・老人会による緑化活動等)、高齢者を身近な存在として受け止め、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民の肯定的回答は 95.2%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>コロナ禍で高齢者とのふれあいを実施することができなかった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <p>高齢者に対する感謝やいたわりの心を育てるためにもふれあう機会を作ることは可能な限り継続する。難しい場合には、お手紙でのふれあいなど、高齢者を意識できるようにする。</p>
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「この学校の友達は、水や電気を大切にしたり、植物や動物を大切にしたりしている」 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生活科・総合的な学習・理科・社会等、地域の自然・文化等を課題とした学習を、地域の方と連携し展開する。</p> <p>② 主体的・協働的な学びとなるよう、体験や対話を取り入れる活動を多く設定する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の肯定的回答は 84.4%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>環境面に目を向ける機会を設けることができた。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の出前講座や委員会活動等、さまざまな機会をとらえ、環境問題や防災等について、知る機会を増やしていく。</li> </ul>

	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 校内支援委員会等により組織的な対応に努め、児童に必要な支援について定期的に検討する。</p> <p>② 特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の支援計画を作成・活用して、学校全体として指導に当たる。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</p> <p>B</p>
目 指 す 学	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図る。</p> <p>② いじめを未然に防ぐことを目的とした自己肯定感を高めるカードの活用（児童自身のよさの発見、友達からのよさの発見、保護者や地域の方々からのよさの発見）を図る。</p> <p>③ 道徳の授業等により児童の心を育てるとともに、各種便りやHP等の呼び掛けにより、保護者の意識も高めていく。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 98.1%であり、指標の 90%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②③ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</p> <p>B</p>
校 の 姿	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスを作ってくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 児童のよさを称賛したり、活躍できる場を設定したりし、児童が自己肯定感をもち、安心して生活できるような学年・学級経営に努める。</p> <p>② 担任だけでなく、学校組織として児童の状態を把握し、支援策を検討し、児童への適切な支援に繋げる。</p>	<p>【【達成状況】】 ・児童の肯定的回答は 96.6%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</p> <p>B</p>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている。」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 言語・文化の違いを理解し、児童への、日本語の指導を行うとともに、学級での温かな雰囲気づくりに努める。</p> <p>② 保護者のニーズを把握し、通訳や翻訳の必要性を相談し、保護者の学校理解がなされるよう努める。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</p> <p>B</p>

<p>A 17 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 児童の自己肯定感や主体性をさらに高めるために、各行事や児童会活動、クラスで協力する活動（長縄・ドッジボール大会・ロング昼休みを活用したクラス遊び等）において主体的に活動できる場を設定していく。</p> <p>② 児童の心の安定や居がいのある学校づくりのため、児童と教師の関わりをさらに深め、児童に寄り添い、児童を肯定的に捉えていく。</p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 84.4%であり、指標の 90%を下回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。 ・コロナ禍なので、中でもできる活動を協議し、推進していく。（テレビ集会等）</p>
<p>A 18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① コースの特性を生かした指導方法の工夫と、学び合いを取り入れた少人数習熟度別指導により、学力の向上を図る。</p> <p>② <u>読解力や語彙力、文章力等の向上を図る言語活動の取組を教職員共通理解のもと実践し、学力向上につなげていく。</u></p> <p>③ <u>基礎力を養う朝の学習「プロジェクト S」での毎月の確認テストの実施及び国語・算数の密接な関連等により、分かる授業・思考力を育てる授業に努める。</u></p>	<p>【達成状況】 ・児童の肯定的回答は 98.1%であり、指標の 90%を上回った。 ・コロナ禍で、朝の学習の時間は確保されなかったため、プロ S は実施できなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・①・②・③を実態に合わせて、内容を具体的に吟味しながら進めていく。 ⇒方向性としては継続だが、具体策については見直しを図る</p>
<p>A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 学校図書館司書業務嘱託員、学校栄養士、かがやきルーム指導員、ALT、スクールカウンセラー等と、打ち合わせや情報交換の時間を確保するとともに、日常的な情報共有に努め、コミュニケーションを図っていく。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 81.8%であり、指標の 80%を上回った。 ・指標はうわまわったものの、昨年と比べ大きくポイントを下げた。</p> <p>【次年度の方針】 ・校務分掌等の枠を超えて協力・連携を図れるよう、日常からコミュニケーションを図り、お互いが助け合う雰囲気を作っていく。</p>
<p>A 20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 業務の効率化や分担等の改善を行い、時間内に業務が遂行されるよう、校務を計画的・組織的に取り組めるようにしていく。</p> <p>② 出退勤時間の管理により、教職員が時間を意識できるようにする。</p> <p>③ 教職員の専門性を生かし、組織的な取組となるよう、教職員の連携を強化していく。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 86.4%であり、指標の 80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・指標はうわまわったものの、働き方改革は喫緊の課題でもあるので取組を継続していく。 ・日課表の見直しを行う。</p>

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① <u>地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、計画的に実施する。</u></p> <p>② <u>あいさつ運動等、小中学校が連携した取組に関して便りやHP等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の肯定的回答は 87.1%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・指標はうわまわったものの、コロナ禍で、出来なかった活動も多く、結果的に発信も弱くなってしまった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後のコロナウイルスによる社会情勢にもよるが①②ともに継続していく。</li> </ul>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① <u>生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験、地域の施設を活用した行事等、地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施していく。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の肯定的回答は 90.2%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・指標はうわまわったものの、コロナ禍で、出来なかった活動も多かった。しかし、やり方の工夫で実現したのもあった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の教育力を生かした学習は、子供の学びの深化や生きる力を育むために有効な手段であるため、次年度以降も積極的に進めていく。</li> </ul>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① <u>交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の肯定的回答は 95.0%であり、指標の 80%を上回った。</li> <li>・コロナ禍において家庭との連携は図れたが、地域・企業との連携については、出来ないことも多かった。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭・地域・企業等との連携は欠かせないことであるので継続していく。</li> </ul>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① <u>日常的な点検・定期的な点検を実施し、教職員が組織的に施設・設備についての維持管理を行うとともに、改善が必要な個所については、迅速に対応する。</u></p> <p>② <u>学校行事等の特別な活動時においては、臨時的な安全面の点検を実施する。</u></p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の肯定的回答は 100%、保護者の肯定的回答は 92.1%であり、ともに指標の 80%を上回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。</li> </ul>

本校の特色・課題等	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① ICT機器の活用しやすくなるよう、配置等を工夫する。</p> <p>② 学習内容に関連する図書を整備していく。</p> <p>③ <u>地域学校園内の図書室の蔵書を借りる等して、学習で活用できるようにする。</u></p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は81.8%であり、指標の80%を上回った。 ・GIGAスクール等の整備により、環境が一層整えられた。</p> <p>【次年度の方針】 ・①・②・③を継続していく。</p>
	<p>B1 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒教職員の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員が共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。</p> <p>② <u>行事や交流活動等や日常的な情報交換を行い、小中の相互理解を図る取組を工夫していく。</u></p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は95.5%であり、指標の80%を上回った。 ・今年度はコロナ禍で十分な交流が図れなかった。</p> <p>【次年度の方針】 ・①の一部見直し、②は継続 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を整理し、共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。</p>
	<p>B2 新型コロナウイルス感染症対策並びに新しい生活様式を意識して教育活動を進める。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は感染症対策並びに新しい生活様式を意識しながら教育活動を進めている」 ⇒教職員・保護者・地域の肯定的評価80%以上</p>	<p>① 三密を解消するために、今までの教育活動を見直し、工夫をしながら全職員の共通理解のもと諸活動を進めていく。</p> <p>② ソーシャルディスタンスの確保など、新しい生活様式を意識した生活ができるよう各教室で十分指導するとともに各種便り等でも周知していく。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・教職員・保護者・地域住民の肯定的回答はそれぞれ100%・94.9%・95.2%であり、指標の80%を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・コロナ感染症が収束するまで①②については継続し、換気等、学習環境に関する取組を拡充する。 【拡充】教室の換気等コロナ感染症対策を十分考慮した学習環境づくりを進めていく。</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>【成果】</p> <p>○「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」との回答は、コロナ禍により、様々な制約のあるなかであったが、保護者・地域住民・児童生徒ともに昨年度を上回る評価となった。先生方による児童の良い面に目を向けた指導を続けたことで、良い雰囲気的环境が作られた成果であると考ええる。</p> <p>○「健康や安全に気を付けて生活している」に対する回答は、全ての対象で昨年度を上回っており、継続した指導の成果が表れていると感じる。本校の重点目標の一つでもある、体力や健康に関する知識や技能を身に付け、自他の生命を尊重しながら、安全な生活を営む児童の育成という方針に沿った取組みの結果であると考ええる。</p> <p>○「教職員は、不登校を生まないよう、一人一人の児童生徒を大切に、児童生徒が励ましあう学級経営を行っている」にたいする保護者の肯定的回答が、昨年度より12.8ポイント、児童の「とても思う」という回答が10.3ポイント上回った。先生方が児童の良いところ、頑張りを見取り、肯定的な声掛けをし、児童の自己肯定感が高まっているためであると考ええる。</p> <p>・「新型コロナウイルス感染症対策や、新しい生活様式を意識した教育活動を進めている。」についての回答は、全ての対象で9割5分に迫る高評価であった。先生方の指導のもと児童も高い意識のもと、新しい生活様式に取り組んだ結果であると考ええる。しかし、問題が長期化する中、コロナ疲れや、慣れによるゆるみも出てきているので、次年度もしっかりと対策していく必要がある。</p> <p>【課題】</p> <p>○「学校は活気があり、明るく生き生きとした雰囲気である。」「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取</p>
---

り組んでいる。」との回答で、教職員の評価が大きく数値を下げってしまった。児童生徒だけでなく教職員にとっても楽しく居がいのある、やりがいのある学校づくりが課題である。

○「時と場に応じたあいさつ」については、全ての対象で昨年度から評価が低くなってしまった。コロナ禍で、マスクをしての生活、大きな声を出さない指導等の影響も考えられるが、会釈の推奨や教職員が率先して挨拶の様子を見せるなど、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

## 7 学校関係者評価

・年度当初に臨時休校となるなど、新型コロナウイルス感染症による影響を受ける中、ほとんどの項目において指標を上回っており、全体的に昨年度より肯定的な回答が増えていることから、教職員の方々が一体となり、工夫と努力をした成果であると考えられる。特に、いじめや不登校に対する対策については、すべての対象において肯定的回答が多く、昨年度と比べ、保護者の肯定的な回答が大幅に増加していることから、今後も引き続き、児童の自己肯定感の醸成に係る取組を積極的に実施していただきたい。

・「児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」や「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」については、教職員と保護者・児童の回答に大きな差異があることから、この原因をよく分析した上で、共通の目標を設定するなど、取組の方向性を全体で共有していく必要がある。

・「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。」については肯定的回答が低く、児童の学校生活にマイナスの影響が及ぶおそれがあることから、学校として教職員が一体となった取組をお願いしたい。

・「児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。」については、全校をあげての「あいさつ運動」の実施などにより、徐々に改善されてきており、一定の評価をしているところであるが、教職員の肯定的回答が非常に少ないのが、気になる点であるので、取組の効果をよく検証し、次年度の取組への改善をお願いしたい。

・学校における様々な取組については、積極的に保護者や地域に発信し、関係者間で共有していくことが理解促進につながることから、学校ホームページ等のICTを有効に活用して、タイミングよく効果的な情報発信に努めていただきたい。

・前例のないコロナ禍の中、教職員の方々には大変なご苦勞をされていると思う。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、地域としてもできる限りの協力をしていきたいと考える。引き続きよろしく願いしたい。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

○コロナ禍で今まで進めてきた元気な声でのあいさつができなくなったこともあり、あいさつに対する評価が全体的に下がっているが、このような機会だからこそ、声の大きさや、会釈など、時と場に応じたあいさつができるように引き続き指導を継続していきたい。また、子どもたちは身近な大人の行動に大きく影響されることを考えると、まずは教職員が子どもの模範となれるようなあいさつや行動を心掛けていく。

○全教職員で子どもの良さを見取り、前向きな声掛けを意識し、児童が学級・学校において達成感や自己肯定感を得ることができるとともに、学校に居がいを感じ楽しいと思うことができるよう、学校経営・学級経営の充実を図っていく。

○子どものみならず教職員にとっても居がいの、やりがいのある学校にするために学校経営の改善を図っていく。

・引き続き児童会によるいじめゼロ運動など、未然防止の取組を継続するとともに、保護者との連携を図り、いじめの予防や早期発見・早期対応に努めていく。

・新型コロナウイルス感染症対策を十分に行うとともに、新しい生活様式の中で最大限できる教育活動を模索しながら、子どもたちの学びを支援していく。

・本校の課題のひとつである基礎学力の向上に向け、学校・家庭が十分連携を図りながら基礎・基本の定着に努める。